

# 第1章 子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の方向性

< 幼児教育の  
意義・役割 >

**幼児教育** ・ 生涯にわたる人間形成の基礎を育む役割  
・ 学校教育のはじまりとして「生きる力」の基礎を育成する役割

幼児教育とは 小学校就学前の幼児に対する家庭・地域社会・幼稚園等施設において行われる教育の総称

幼児教育は重要

これまでの取組： 量的拡大，教育要領改訂等質的向上，  
「幼児教育振興プログラム」の推進等

< 幼児教育の今日的課題 >

( しながら ) 近年の子どもの育ちが何かおかしい。【 今日的課題 】

子どもの育ちの変化

基本的な生活習慣の欠如      コミュニケーション能力の不足      自制心や規範意識の不足  
運動能力の低下      小学校生活への不適応      学びに対する意欲・関心の低下      等

< その背景 >

我が国の社会の急激な変化に伴う教育力の低下

少子化，核家族化，都市化，情報化等の経済社会の急激な変化  
人間関係の希薄化，地域社会のコミュニティー意識の衰退，大人優先の社会風潮など

地域社会の教育力の低下

子ども同士で遊び，葛藤しながら  
成長する体験の機会の減少  
身近な自然や遊び場の減少  
近隣の大人の無関心

( 影響 )

家庭の教育力の低下

子育ての孤立化による  
(親の)育児不安や情緒不安定  
子育てに夢を抱きづらい状況・意識  
過重な労働等の子育てへの影響

( 影響 )

幼稚園教員等の今日的課題

家庭や地域社会の教育力の低下等の  
課題に対応するため，  
資質・専門性を高める必要  
一方で，教員等自身の成長過程に  
おける多様な体験の不足  
保育を構想し実践する能力，  
保護者等との良好な関係を  
構築する能力が不足する傾向

家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者の対応が不十分

将来にわたる子どもの健やかな成長への危機感

対応の必要

< 今後の幼児教育の方向性 >

- 1 家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進
- 2 幼児の生活や発達・学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実